

# 活動報告書

2023年7月 市川素

新しい環境で臨んだ夏蚕は、残念な結果に終わってしまいました。

## 今月の主な活動

6月28日から始まった夏蚕は7月12日頃に上族、7月22日に出荷となりました。結果は、2箱（約6万頭）で70kg ちょっとの収繭量となりました。多くの農家さんが1箱で50kg程度取る中、私の結果は非常に悪いものとなってしまいました。恐らく全体的に与える桑の量が少なかったこと、温度や湿度の調整が上手くいかなかったこと、何度か夕立にあってしまい濡れた桑を与えてしまったことなどが原因で、繭の大きさがとても小さく、また病気が発生してたくさんのお蚕さんが繭を作ることなく死んでしまいました。配蚕から約2週間、毎日せつせと桑を与えて飼育してきていただけにとっても残念で、ショックでした。



しかし落ち込んでばかりではいけないので、新しい環境で少ないながらも繭を出荷できた、色々な学びを得ることができたポジティブに考え、次に活かしていきたいと思っています。

そして休む間もなく7月28日からは初秋

蚕のお蚕さんたちがやってきました。1年の中で最も暑いこの時期に始まる初秋蚕、通常はぐんま 200 という品種を飼うことが多いのですが、この時期は「なつこ」という暑さに強い品種を飼っています。とはいえ 35℃を超えるとさすがのなつこさんも暑すぎて食欲が落ちている様子です。また桑を取りに行く私自身も夏バテ気味です。特にここ数日は異常な暑さが続いています、何とか少しでもましになってくれればいいのですが、、我が家で漬けた梅干しパワーで夏を乗り切りたいと思います！



## ○ご紹介

Facebook の富岡市地域おこし協力隊のページでも養蚕日誌として日々の活動を投稿していますので是非ご覧ください。

(<https://www.facebook.com/tomiokashi.chiikiokoshi>)

(\*本記事の記載内容は全て私見によるものであり富岡市の公式見解ではありません)